事例No.	1443
公表年度	R3
団体の属性	中核市
団体名	愛知県一宮市

事例区分	一般行政

タグ	・公共施設活用 ・新たな政策手法の確立・活用 ・税財政

事例種類	木材利用・普及啓発

事例内容・タイトル

公共建築物の内装木質化の実施

出典

森林環境譲与税の令和２年度取組事例集（令和３年１２月）

愛知県　一宮市（公共建築物の内装木質化の実施）

➢ 一宮市には森林がないことから、公共施設における木造化・木質化や、木製備品の調達等による木材利用の促進、木育の機会の創出といった普及啓発に取り組むこととしている。

➢ 令和２年度においては、以下の取組により、公共施設の内装木質化等を行った。
- 国営木曽三川公園にあり、市のランドマークである「ツインアーチ１３８」の展望階（市の所有施設）の内装木質化を行った。
- 展望階にあるレストラン等に国産木材を利用した机や椅子を導入した。

□　事業内容

1　公共施設の内装木質化

- 国産材を活用し、ツインアーチ１３８展望階の内装木質化を実施。

【事　業　費】22,605千円（うち譲与税12,981千円）
【実　　績】木材使用量3.46㎥

2　公共施設の机や椅子の更新

- ツインアーチ１３８展望階の内装木質化によるリニューアルに合わせ、国産材を活用した机・椅子を更新。

【事　業　費】1,060千円（全額譲与税）
【実　　績】木材使用量0.67㎥



（１　公共施設の内装木質化）



（２　机や椅子の更新）

□　事業スキーム

1　公共施設の内装木質化

一宮市 → 発注 → 施工業者

2　公共施設の机や椅子の更新

一宮市 → 発注 → 事業者（製作）

□　工夫・留意した点

- 市民が利用する市のランドマークである公共施設の内装に、木の温かみや香りが感じられる居心地のよい空間を演出することで来場者を増やし、木の良さや森林整備の意義を効果的にＰＲし事業の効果が高まるよう配慮した。

◇　基礎データ

①令和２年度譲与額	30,550千円
②私有林人工林面積（※１）	0ha
③林野率（※２）	0%
④人口（※３）	380,868人
⑤林業就業者数（※３）	0人

※１：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、
※２：「2015農林業センサス」より、※３：「H27年国勢調査」より